

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社中央経済社

コード番号 9476 URL <http://www.chuokeizai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 津原 均

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	1,366	△2.9	21	△62.9	35	△50.0	26	△19.9
24年9月期第2四半期	1,406	△8.0	58	△61.9	71	△56.6	33	△58.1

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 39百万円 (13.0%) 24年9月期第2四半期 35百万円 (△59.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	7.14	—
24年9月期第2四半期	8.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	4,832		3,790			78.4
24年9月期	4,841		3,787			78.2

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 3,788百万円 24年9月期 3,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,681	△2.9	41	10.8	63	5.0	42	68.0	11.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	4,398,464 株	24年9月期	4,398,464 株
25年9月期2Q	667,758 株	24年9月期	667,699 株
25年9月期2Q	3,730,748 株	24年9月期2Q	3,730,803 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、前半は復興需要を背景に国内需要が手堅く推移いたしました。しかし後半は、12月に発足した新政権の金融政策、経済対策への期待感から円高是正や株高が進行し、景気回復への明るさが見え始めてきました。

このように外部環境はやや好転しましたが、大きな出版テーマがない状況は変わらず、売上高は、これまでよりペースは緩やかになったものの、引き続き減少傾向でした。そのような中、当社はこれまで培ってきたブランドとノウハウを活かした本づくりを、編集、営業、製作部門が一体となって、1冊1冊丁寧に行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,366百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は21百万円（前年同四半期比62.9%減）、経常利益は35百万円（前年同四半期比50.0%減）、四半期純利益は26百万円（前年同四半期比19.9%減）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

#### (出版事業)

第1四半期に引き続き、社会の変化に対応した本づくりを念頭に置いて1冊1冊丁寧にかつ積極的に活動いたしました。税制改正が今年は予定通りの日程で決定したことなどにより相続税・贈与税・民法・労働法等の法律分野の書籍が順調に刊行でき、また、12月に発足した新政権の経済対策に対する読者ニーズを捉えた書籍の出版ができました。また、監査法人による図解を用いた入門的な会計シリーズや、業種別会計実務のシリーズを刊行し、資格分野でも当社の看板商品である簿記講義・簿記ワークブックの大幅改訂などを行いました。その結果、出版点数・部数は前年同四半期を上回り、増刷点数も増えました。しかし、一部の書籍での需要の見込み違い等により、原価率が上昇し、売上総利益が落ち込みました。販売費及び一般管理費は前年同四半期を下回りましたが、売上総利益が減少した分、営業利益は前年同四半期を下回り、営業損失となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,299百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業損失11百万円（前年同四半期は営業利益30百万円）となりました。

#### (出版付帯事業)

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理等ですが、紙媒体への広告が減少し広告媒体が多様化する中、なかなか活路が見出せない状況が続いております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は67百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は17百万円（前年同四半期比38.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は4,832百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に、土地が49百万円、受取手形及び売掛金が34百万円、商品及び製品が23百万円、有価証券が20百万円増加したものの、現金及び預金が142百万円減少したことによるものです。

##### (負債)

負債は1,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が14百万円、退職給付引当金が9百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が39百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は3,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に、期末配当金の支払い等により利益剰余金が10百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が13百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ107百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は9百万円（前年同四半期は12百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益35百万円、法人税等の還付額29百万円があったものの、売上債権の増加額34百万円、仕入債務の減少額39百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は61百万円（前年同四半期比25百万円減）となりました。これは主に、定期預金の減少額25百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出50百万円、投資有価証券の取得による支出10百万円、貸付けによる支出28百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は37百万円（前年同四半期比10百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額37百万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に、現時点で変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,685,374	1,543,270
金銭の信託	682,782	691,930
受取手形及び売掛金	920,104	954,799
有価証券	98,013	118,773
商品及び製品	416,315	439,870
仕掛品	63,327	49,836
原材料及び貯蔵品	3,152	3,664
未収還付法人税等	28,177	—
その他	78,479	90,935
貸倒引当金	△1,128	△1,160
流動資産合計	3,974,597	3,891,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,061	62,831
土地	474,063	523,481
その他（純額）	11,925	10,656
有形固定資産合計	551,049	596,970
無形固定資産	44,375	43,723
投資その他の資産		
投資有価証券	138,819	149,888
繰延税金資産	82,652	78,774
事業保険積立金	36,857	38,777
その他	15,329	34,027
貸倒引当金	△1,889	△1,162
投資その他の資産合計	271,769	300,304
固定資産合計	867,194	940,997
資産合計	4,841,791	4,832,919

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	535,306	496,137
未払法人税等	855	15,557
返品調整引当金	65,244	65,939
賞与引当金	48,620	46,881
その他	165,009	169,933
流動負債合計	815,035	794,448
固定負債		
退職給付引当金	238,960	248,207
固定負債合計	238,960	248,207
負債合計	1,053,995	1,042,655
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,498,430	3,487,775
自己株式	△299,644	△299,661
株主資本合計	3,785,769	3,775,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	13,230
その他の包括利益累計額合計	173	13,230
少数株主持分	1,852	1,935
純資産合計	3,787,795	3,790,263
負債純資産合計	4,841,791	4,832,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,406,994	1,366,836
売上原価	877,461	885,646
売上総利益	529,532	481,190
返品調整引当金戻入額	843	—
返品調整引当金繰入額	—	695
差引売上総利益	530,375	480,495
販売費及び一般管理費	472,357	458,942
営業利益	58,018	21,552
営業外収益		
受取利息	1,686	1,794
受取配当金	1,088	1,124
受取地代家賃	5,018	5,798
投資有価証券評価損戻入益	410	2,494
その他	5,268	3,029
営業外収益合計	13,472	14,241
営業外費用		
その他	1	31
営業外費用合計	1	31
経常利益	71,489	35,762
特別利益		
投資有価証券売却益	—	114
特別利益合計	—	114
特別損失		
固定資産除却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	71,472	35,876
法人税、住民税及び事業税	27,450	14,499
法人税等調整額	10,672	△5,358
法人税等合計	38,123	9,140
少数株主損益調整前四半期純利益	33,348	26,735
少数株主利益	93	83
四半期純利益	33,255	26,652



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,348	26,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,866	13,056
その他の包括利益合計	1,866	13,056
四半期包括利益	35,215	39,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,122	39,709
少数株主に係る四半期包括利益	93	83

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年10月1日 至平成24年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	71,472	35,876
減価償却費	6,861	6,551
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,610	△695
賞与引当金の増減額（△は減少）	△841	△1,739
退職給付引当金の増減額（△は減少）	8,829	9,246
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△843	695
投資有価証券評価損益（△は益）	△410	△2,494
受取利息及び受取配当金	△2,775	△2,918
売上債権の増減額（△は増加）	789	△34,695
たな卸資産の増減額（△は増加）	△36,460	△10,577
仕入債務の増減額（△は減少）	27,386	△39,168
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,583	9,509
破産更生債権等の増減額（△は増加）	2,621	726
その他	3,255	△10,635
小計	72,692	△40,317
利息及び配当金の受取額	2,507	3,083
法人税等の支払額	△62,549	△1,682
法人税等の還付額	—	29,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,650	△9,340
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額（△は増加）	25,200	25,200
有形固定資産の取得による支出	△40,923	△50,293
無形固定資産の取得による支出	△2,600	△1,527
投資有価証券の取得による支出	△75,188	△10,018
投資有価証券の売却による収入	—	892
保険積立金の積立による支出	△1,946	△1,920
保険積立金の解約による収入	5,030	—
貸付けによる支出	△2,000	△28,969
貸付金の回収による収入	1,800	5,341
その他	4,200	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,427	△61,274
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△48,024	△37,123
自己株式の取得による支出	—	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,024	△37,140
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△121,800	△107,755
現金及び現金同等物の期首残高	2,458,256	2,313,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,336,456	2,205,601

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当社グループは、主に企業経営全般に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見ると一体のものであるといえます。したがって、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。